



にっしいアグリインフォメーション

にっしいアグリインフォメーションはJA兵庫西管内の担い手農家の皆様を対象として有益な営農情報を提供して参ります。

JA兵庫西

VOL.18
令和6年7月発行



発行元: JA兵庫西

旬彩蔵出荷会員の皆様へ 旬彩蔵で不足している農産物について

令和5年度下半期に各旬彩蔵で不足した農作物を紹介します。今後の作付計画の参考にしてみてください！
なお、作付けにあたりましては、各旬彩蔵担当者へのご相談をお願いいたします。

令和5年度下半期 各旬彩蔵における不足野菜一覧

(単位:袋、円)

順位	品目	不足数量							売上金額 (千円)	平均単価
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
1	にんじん	11,900	7,300	3,800	3,200	3,100	6,300	35,600	5,963	167
2	ごぼう	3,500	3,200	9,400	3,200	3,800	3,700	26,800	5,454	203
3	じゃがいも	3,500	3,300	2,600	3,900	6,800	9,200	29,300	5,088	174
4	きゅうり	900	700	3,300	2,900	4,200	4,300	16,300	2,966	182
5	さつまいも(かんしょ)	1,100	500	800	1,300	2,200	3,100	9,000	2,808	312
6	しょうが	2,100	1,400	2,400	2,000	2,200	2,500	12,600	2,053	163
7	なす(長)	600	700	1,400	1,200	1,200	2,000	7,100	1,782	251
8	ピーマン	0	0	2,900	2,100	2,200	2,800	10,000	1,664	166
9	きぬさや(さやえんどう)	100	1,200	1,800	1,500	1,600	600	6,800	1,433	211
10	大根	3,000	900	0	100	300	1,400	5,700	1,337	235

JAグループの「土壌マップ」への取り組みと土壌診断結果について

近年、肥料価格が高騰しています。その対策として国の中間目標である2030年までに化学肥料2割減を達成するためJAグループ兵庫として施肥設計を見直すと同時に、県全域で土壌診断を行っています。令和4年から6年までの3年間実施し、毎年定点を変更することでより高い精度での土壌マップの作成を目指しています。
分析結果については最終、土壌を採取した生産者へフィードバックしていますが、JA兵庫西の土壌の傾向としては以下の通りとなっています。

JA兵庫西管内の土壌診断結果(令和4・5年度合計)

JA名	項目	目標値	平均	点数				平均			
				低い	適正	高い	合計	低い	適正	高い	合計
兵庫西	pH	6.0~6.5	6.1	136	101	41	278	49%	36%	15%	100%
	石灰	200~250	209	169	48	61	278	61%	17%	22%	100%
	苦土	25~35	25	171	64	43	278	62%	23%	15%	100%
	カリ	20~30	27	112	97	69	278	40%	35%	25%	100%
	リン酸	10~30	46	10	167	101	278	4%	60%	36%	100%
	ケイ酸	12以上	11.1	194	84		278	70%	30%		100%
	腐植	3~5	2.9	177	95	6	278	64%	34%	2%	100%
	遊離酸化鉄	0.8以上	0.8	157	121		278	56%	44%		100%
地力窒素	8~20	12.2	48	213	17	278	17%	77%	6%	100%	

※令和4年産+令和5年産 水稲刈り取り後 定点設置圃場 278点(2か年) 分析結果

令和6年度ライスセンター利用について

ライスセンター利用料金(水稲)

(消費税込)

水分	18.0%以下	18.1%~ 21.0%	21.1%~ 24.0%	24.1%~ 28.0%	28.1%以上
利用料金	20円	23円	25円	29円	31円

大口利用 奨励

- 20トン以上40トン未満利用農家に**2円/荷受**(kg)
- 40トン以上80トン未満利用農家に**3円/荷受**(kg)
- 80トン以上の利用農家に**4円/荷受**(kg)

契約栽培品種 (水稲)奨励

契約栽培品種(水稲)
ライスセンター利用農家に**2円/荷受**(kg)

ライスセンター 出荷奨励

ライスセンター利用農家の出荷米に対して
1袋/30kg当たり200円

●注意事項

- ※品質保持のため、収穫後の初は4時間以内の持込をお願いします。なお、必ず刈取当日に持込ください。
- ※カメムシ被害米(斑点米)が増加しています。斑点米はカメムシが出穂期の稲穂の養液を吸うことで、米に黒い斑点をつけて極端に品質を落とします。色彩選別機の導入により被害粒数を減らすことはできますが、減収を招きます。また、近年増加している「イネカメムシ」は体長12~13ミリ黄褐色の楕円型のカメムシで、斑点米を引き起こすことはもちろん、不稔を引き起こす非常に被害の大きいカメムシです。適切な防除で被害を抑えましょう。
- 不稔籾を防ぐ「穂揃期(ほ場全体の7~8割が出穂した時期)」、斑点米を防ぐ「乳熟初期」の対策が大切です。

- ※ライスセンター利用に際しては「令和6年産米生産管理記録表」に必要事項をご記入のうえ、提出をお願いします。
- ※荷受品種および日程、利用時間については、施設ごとに異なりますので最寄りのライスセンター又は営農生活センターにお問い合わせください。



カメムシ防除ニュース

カメムシによる
斑点米被害が
増えています!

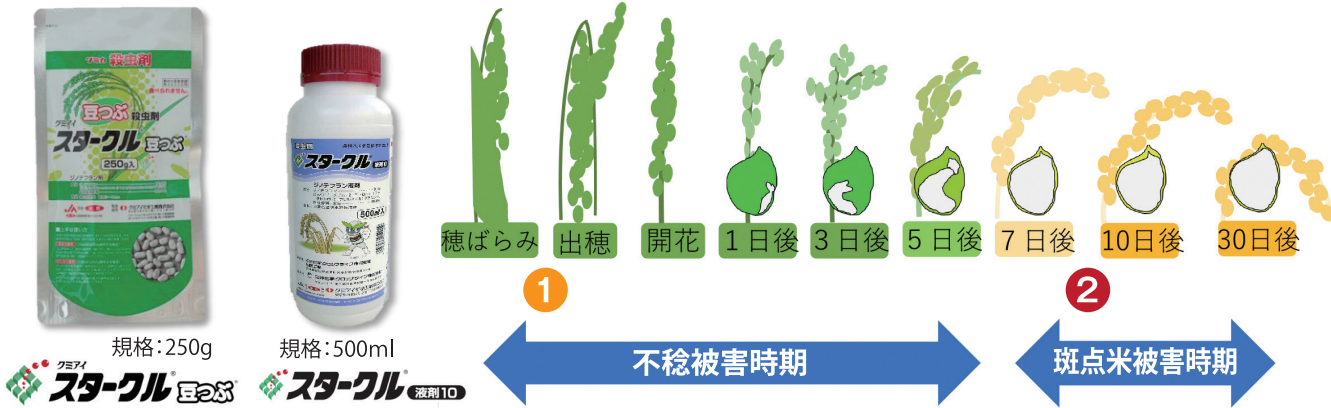


JA兵庫西では例年に比べ、カメムシによる斑点米被害で、低品質として評価される割合が高くなっています。

JA兵庫西 (うるち米の1等比率)	カメムシ被害による等級低下割合	
	2等のうち カメムシ起因の等級落ち (うるち米の2等比率)	3等のうち カメムシ起因の等級落ち (うるち米の3等比率)
令和5年産 (1等比率: 46.6%)	13.9% (2等比率: 47.1%)	74.8% (3等比率: 6.3%)
令和3年産 (1等比率: 64.4%)	18.1% (2等比率: 33.0%)	34.0% (3等比率: 2.5%)

兵庫県令和5年産および令和3年産米検査実績(10月末)より作成 種類:うるち米

スタークル豆つぶ、液剤でイネカメムシの被害を減らしましょう!
不稔を防ぐためなら①走り穂が出る直前
斑点米を防ぐためなら②出穂7~10日後の使用がオススメ!



粉剤体系は**トレボン粉剤**もオススメ!
スタークルとは異なる系統の殺虫剤!

兵庫県中古農業機械フェアのご案内

県内の中古農機が集まる数少ない機会です。
お近くにお立ち寄りの際はぜひお越しください。



場所 兵庫県西播磨
総合庁舎西側広場
(赤穂郡上郡町光都2-25)

日時 7月12日(金) 9:30~15:00
7月13日(土) 9:00~12:00

詳細については最寄りのJA農機センターへお問い合わせください。
トラクター、田植え機、コンバインなどの様々な機械が集まります。
農機の買い替えなどはいかがですか?

農薬廃棄処分のご案内

期限切れ等で使用しなくなった農薬はありますか?農薬を処分する場合、「産業廃棄物」として適正に扱う必要があります。当JAでは不用農薬の処分を、お客様の実費負担で実施いたします。



申し込み期日:7月25日(木)

詳しくはお近くの営農生活センターまで